

# 5歳～11歳の新型コロナウイルスワクチン接種

津久見市では、3月11日より

5歳～11歳の新型コロナウイルスワクチン接種がはじまりました。

## 1. 5歳～11歳の新型コロナウイルスワクチンの接種量や回数は？

5～11歳で接種する有効成分の量は、12歳以上で接種する量の3分の1です。  
接種回数は12歳以上と同様、3週間の間隔で2回接種します。

## 2. 小児(5～11歳)のワクチン接種ではどのような効果がありますか？

小児においても高い感染予防と重症化予防効果が確認されています。

## 3. 小児(5～11歳)のワクチン接種ではどのような副反応がありますか？

12歳以上の子どもと同様、主な副反応は注射した部分の痛み、倦怠感、頭痛、発熱などですが、ほとんどの場合は2～3日で軽快します。  
重篤な副反応としてはアナフィラキシーショック、心筋炎などですが、頻度はまれです。

## 4. 接種時に必要なものはありますか？

5～11歳のワクチン接種では、原則、保護者の同伴が必要となります。  
また、母子健康手帳の持参をお願いします。その他、送付された接種券等一式と本人確認書類(マイナンバーカード、健康保険証等)を忘れずにお持ちください。

## 5. 小児(5～11歳)の接種に向けて、保護者が気を付けることはありますか？

接種前は体温測定やそのほか体調に変化がないか確認してください。  
ワクチン接種後数日以内は、様々な症状に注意しながら過ごす必要があります。引き続きマスクの着用等、基本的な感染対策の継続をお願いします。学校生活では、接種を受ける又は受けないことによって、差別やいじめなどが起ることのないようお願いします。

